

28/04/2016

## スーパーバイク全米選手権 開幕から3レース連続で サンスター部品採用のヨシムラ・スズキが1位2位独占！

2016年4月8日～10日、米国テキサス州オースティン近郊のサーキット・オブ・ジ・アメリカズ（通称COTA）で開催されたスーパーバイク全米選手権の開幕戦2レースと、4月15日～17日、ジョージア州ブラセルトンのロード・アトランタサーキットで行われた第2戦の第1レースで、サンスターグループSEカンパニー（以下サンスター）のレース専用ブレーキディスク、スプロケットを採用したヨシムラ・スズキファクトリーレーシングの1000ccバイクGSX-R1000に乗る2選手が3レース連続で1位2位を独占しました。3戦とも1位はトニ・エアース選手、2位はロジャー・ヘイデン選手で、ヘイデン選手は、第2戦の第2レースでも3位に入賞、4レース終了後のランキングでヘイデン選手が1位、エアース選手が2位となりました。



写真左：開幕戦の表彰台に立つ準優勝のロジャー・ヘイデン選手（左）と、優勝のトニ・エアース選手（右）

写真右上：サンスターのブレーキディスクを持つトニ・エアース選手（左）と、エアース選手開幕戦走行風景（右）

写真右下：ロジャー・ヘイデン選手の開幕戦走行風景（左）、サンスターのブレーキディスクを持つヘイデン選手（右）

両選手が乗るバイクの前輪のブレーキディスクには、サンスターのレース専用ブレーキディスク 650℃耐熱鋼採用の Type-OMEGA（タイプオメガ）が採用されています。高温で繰り返し行われるブレーキング操作時にも歪が少ない強みを活かし、安定した制動力で両選手のライディングを支えました。

前輪のブレーキディスクのほか、後輪のブレーキディスク、スプロケット（チェーンを介して駆動力を伝える歯車部品、エンジン側・後輪側）もサンスター製が採用されています。

サンスターは、国内外のレーシングチームにレース専用ブレーキディスク、スプロケット、ブレーキパッドを供給しており、今シーズンは、国内外 14 チーム、22 人のライダーにサンスター製品を採用されています。650℃耐熱鋼採用のブレーキディスクは 2010 年に実戦デビューして以来実績を積み、2016 年は世界選手権、アジア選手権、全日本選手権、全米選手権に出場の計 8 チームに採用されています。

#### 【サンスターが開発した二輪レース用ブレーキディスク「650℃耐熱 Type-OMEGA（タイプオメガ）」】

- ・サンスターが二輪レース向けに開発し、二輪レーシングチームに限定して供給。
- ・摺動部の熱容量の偏りを極力無くし、熱変形、ヒートクラック、スポット溶着の発生を抑制。
- ・独自の溝加工によりブレーキパッド磨耗時のセルフクリーニング機能を発揮。
- ・上記の特徴により、コントロール性に優れ、安定した制動力を確保。
- ・厚み、外径寸法など、チーム毎の要望を取り入れたバリエーションに対応。
- ・材料メーカーと共同開発した超高耐熱ブレーキ専用ステンレス鋼採用により、ディスク最高温度が 650℃にも至る領域で繰り返し行われる激しいブレーキ操作での歪発生を抑制、終始安定したブレーキフィーリングが持続。



※「Type-OMEGA（タイプオメガ）」は一般耐熱モデルと 650℃耐熱モデルをラインナップ

#### 【サンスターのレース専用部品トピックス：ブレーキパッドの製品化と採用拡大】

『ブレーキパフォーマンスに妥協を許さないレースチーム・ライダー』に対し、高温でも安定したブレーキ性能を提供するブレーキディスクの開発・改良を進めるとともに、650℃耐熱ブレーキディスクの性能を活かしきるブレーキパッド（写真）も開発し、2014 年の鈴鹿 8 耐で完走デビューを経て製品化、今シーズンは、650℃耐熱ブレーキディスクと専用ブレーキパッドの組み合わせで 6 チームに採用されています。



#### 【サンスターのブレーキディスク、スプロケット：メーカー向け純正部品と市販カスタム部品】

1960 年代にオートバイ向けディスク部品事業に参入、二輪メーカー各社の純正部品としてブレーキディスク、スプロケットを OEM 供給しています。1993 年からはバイクショップ向けのカスタム部品も販売開始、国内外オートバイメーカー 12 社の対応商品をラインナップしています。

レース専用ブレーキディスク「Type-OMEGA（タイプオメガ）」の一般販売は行っていませんが、同様の設計思想を取り入れた「ワークスエキスパンド」シリーズ（写真）が好評です。



◆サンスター二輪車カスタムパーツ紹介ページ <http://jp.sunstar-engineering.com/personal/motorcycle/>

#### 【サンスターの起源】

サンスターは自転車部品やパンク修理用ゴム糊の製造販売業として 1932 年に起業しました。その後、ゴム糊を入れていた金属チューブに練歯磨剤を入れて発売したところ好評となり、主力事業に発展、現在のオーラルケア事業、ヘルス&ビューティ事業に結びついています。一方、自転車部品やゴム糊の事業は、二輪車・四輪車用ブレーキディスク、スプロケット等の部品事業と、産業用接着剤・シーリング材事業に発展しています。

【サンスターグループ SE カンパニーについて】

サンスターグループは、持株会社サンスターSA（スイス・エトワ）を中心に、事業分野毎に全世界の研究・マーケティング・製造・販売を統括する、オーラルケアカンパニー、ヘルス&ビューティーカンパニー、SE カンパニーの3事業カンパニーと、全世界のガバナンス、管理機能を統括する経営本部で構成、グローバルな事業運営を行っています。

SE カンパニーは、グローバルの統括本社をシンガポールに置き、ケミカル事業（自動車製造用・建築施工用の接着剤、シーリング剤）、モーターサイクル事業（二輪車メーカー向けブレーキディスク、スプロケットのOEM 部品・市販部品の製造販売、4 輪車向けファイブランキンング部品、電気自動車のブレーキディスクなどの製造販売など）を行っています。

※SE カンパニーの名称は、Sunstar Engineering という旧組織名称に由来しています。

<2 輪レーシング専用部品についてのお問い合わせ先>

サンスターグループ SE カンパニー 担当 吉田・品川 TEL: 077-562-6771

<本件に関するマスコミからのお問い合わせ先>

サンスターグループ 経営本部 広報部 TEL:03-5441-1423 FAX:03-5441-8774

〒105-0014 東京都港区芝 3-8-2 芝公園ファーストビル 21 階 <http://jp.sunstar.com>